

買い物に大はしゃぎ

胎児性水
俣病児童

市内で社会の勉強

水俣市第一小湯の児分枝「療育
学級」(湯の児リハビリテーショ
ン内)の胎児性水俣病患者を含む
児童たちが十日、市内で社会勉強
をした。

現在、湯の児分枝には一年四
人、三年八人が勉強している。一
週間ほど前から社会勉強のための
事前の準備をしていた。子どもた
ちもこの日を待ちに待っていた。

午前十時過ぎに市消防本部に行
き、水俣川べりで消防車の放水を
見せてもらった。もちろん初めて
の経験。続いて中央商店街衣屋で
ショッピング。車イスに乗りなが
らもチョコレートやキャラメルな
ど自分の注文で買った。運動会
のためのトレパンを捜し回った子
もいた。

年一回の行事で分校の海江田秀

雄教諭は「とにかく学校の看板を
掲げているので字を書いたり、読
んだりするのが中心のように思わ
れがちですが、まず学習も日常生
活を身につけさせるのが先決。こ
うした行事は子どもたちも喜ぶ
し、効果が上がります」と引率し
ながら語っていた。このあとは学
校に帰ってこの日のことを復習す
ることになっている。



大喜びで買い物する学級生 (中央街衣屋で)